



○第2回大槌町総合教育会議開催

第2回総合教育会議が、文部科学省から地方教育行政係長児玉光輝様、専門職松田大輝様、東京学芸大学名誉教授小池敏英様、NPOカタリバオンライン事業部長瀬川知孝様を助言者としてお招きして、教育委員、町長をはじめとする役場関係者が出席して行われました。

内容は、「大槌町教育大綱」改訂の素案についてと、「けやき共育」の推進状況についてでした。

①教育のまち大槌町の「大槌町教育大綱」改訂の素案について

6月26日(水)に行われた、第1回「大槌の教育」推進協議会を皮切りに、学校保護者及びこども支援関係者、社会教育関係者熟議、「大槌教育未来会議」等で200名以上の参加者からの意見を基に、「大槌町教育大綱」改訂の素案が出来上がりました。教育未来会議では、大熊町立学び舎ゆめの森の南郷市兵校長先生から「大槌町は教育のまちのパーツがすべてそろっている。」という嬉しいご指摘をいただいております。

さて、「大槌町教育大綱」は、教育のまち大槌町をつくるための施策や根本となる方針を定めるものです。教育大綱のスローガン“2050年の大槌をつくる教育を「ともに」つくる”には、今の子供達が20年後、30年後に大槌町を担うことができるよう、町民総がかりで、大槌の教育をつくっていこうというメッセージが込められています。改訂した基本方針(案)は下記のとおりです。

基本方針

- ① これからの大槌をつくる新しい学びをつくる
 - ▶ 個別最適な学びと協働的な学びを通じて確かな学力を
 - ▶ 主体性のある探究活動をどの世代でも
- ② 0歳から18歳までの一貫した魅力的な教育をつくる
 - ▶ 大槌学園・吉里吉里学園・大槌高校の一貫した魅力化の推進
 - ▶ 幼保小の架け橋プランの充実
- ③ 地域とともに学び合う学校をつくる
 - ▶ コミュニティ・スクール、地域学校協働活動の推進
- ④ 誰もが安心して学ぶことのできる大槌の教育をつくる
 - ▶ 0歳から18歳までの子どもたちの居場所づくり
 - ▶ 特別な支援を要する子どもへの個に応じた自己実現の支援
 - ▶ 不登校児童生徒・保護者への寄り添った支援
- ⑤ 学びに来たくなる大槌の教育をつくる
 - ▶ 教育関係人口と教育移住の創出、生活環境の支援
- ⑥ 教育関係者が働き続けたいくなる環境をつくる
 - ▶ やりがい、働きがいのある職場へ
 - ▶ 学びがい創出のための視察・研修等の機会の拡充
 - ▶ 教育環境の整備
- ⑦ 世代を超えたつながりある地域をつくる
 - ▶ 「学ぶ」「集う」「結ぶ」を実現する公民館を核とした活動の充実
 - ▶ 芸術文化・読書・スポーツの推進と環境整備
 - ▶ 姉妹都市との友好関係を活かした国際交流
 - ▶ 郷土固有の伝統文化と文化財に触れる機会の充実
- ⑧ 命を守る防災学習の在り方をつくる
 - ▶ 学校教育や地域活動と連携をしながら実現する防災意識の向上

②「けやき共育」について助言者の先生方から

・東京学芸大学 小池名誉教授

ことば・学びの教室の担当は、多忙でもっと支援をしたいと思ってもできない状況である。LD等の支援をリモートで行うことが可能であり、お手伝いしたい。

・カタリバオンライン事業 瀬川部長

ぜひ学校の中での子ども同士、それから生徒と先生の日常的な関係性をいかにいいものにしていくかっていうところも、けやき共育の中で検討していけたらよいのではないかと。

・文部科学省地方教育行政係 児玉係長

総合教育会議や教育大綱を地域住民のため、いや学校のため、何より子どもたちのために、存分に活用いただいて、そういった方々を巻き込んで進めていただけたらなと思っています。既にもう様々な取り組み、素晴らしい素敵な取り組みをしていただいて、感謝しているところです。引き続きご尽力いただければというふうに思います。



